



4月より新たに仲間となった職員たちです。どうぞよろしくお願ひいたします。

## <ご連絡>

下記外来診療枠を設けましたのでご案内申し上げます。

消化器内科 木曜日	第1・3・5 木村淳史医師 第2・4 石川夏生医師
脳神経内科 水曜日	鈴木奈穂美医師
血液内科 火曜日（午後）	片桐隆幸医師（新潟大学医歯学総合病院より出張）

ご紹介時は事前に地域医療連携室へご予約いただきたくお願ひ申し上げます。

### 基本理念

病める人の権利と心情を重んじ信頼される医療を行います。

### 基本方針

- 安全で質の高い医療を提供します。
- 次世代の医療を担う人材の育成に努め、時代の変化に対応できる中核病院としての役割を果たします。
- 地域包括ケアシステムを推進する取組みを進め、地域の医療、保健、福祉の向上に貢献します。
- 患者さんに喜ばれ、誇りをもって働くことのできる病院づくりに努めます。

信楽園病院広報誌 地域医療連携室だより172号  
令和3年7月発行

編集 社会福祉法人 新潟市社会事業協会  
信楽園病院 地域医療連携室  
〒950-2087 新潟市西区新通南3-3-11  
TEL025-260-8101 FAX025-260-8102  
Http://www.shinrakuen.com

新潟市在宅医療・介護連携ステーション西第二

〒950-2087 新潟市西区新通南3-3-11  
TEL025-260-8108

### 消化器内科 木村 淳史 (きむら あつし)

4月から信楽園病院消化器内科医として勤務させていただいております木村淳史です。生まれは新潟市西区で、新潟高校卒業後、薬学部に進学し仙台で大学、大学院生活を過ごしました。私の所属していました東北大学大学院臨床薬学分野は医学と薬学の共同研究室でした。日本の高血圧界を牽引していた先生方と共に岩手県大迫地区の住民を対象とした血圧の前向きコホート研究(Ohasama study)、降圧薬評価のための大規模介入試験(HOMED-BP study)に参加しました。そのような経験から徐々に薬学の知識を活かしながら医師として社会貢献したいという思いが強くなりました。

その後、現在新型コロナウイルス感染症関連で話題の東京新宿にある国立国際医療研究センター(旧国立国際医療センター)薬剤部に勤務しました。そこでHIV薬や結核薬について勉強しながら再受験し、東京医科大学医学部に入学し、医師になりました。卒業と同時に約20年ぶりに新潟に帰って参りました。

帰郷後は新潟医療センターで初期研修、新潟市民病院でシニアレジデント、新潟大学医歯学総合病院で臨床、研究し現在に至ります。

新潟大学大学院分子細胞医学分野(消化器内科学)では蛍光血管(血管が緑色に光る)メダカを用いて非アルコール性脂肪肝炎(NASH)モデルを作成し、近年NASH治療に効果が期待されている高脂血症薬、糖尿病薬やそれらの組み合わせについて薬効評価、血管評価、遺伝子解析を行っておりました。

これまで肝臓の主な原因であった肝炎ウイルスが制御できる時代になり、飲酒や肥満、糖尿病などの生活習慣と関連する肝臓(通称メタボ肝臓)が増加してきています。成人の4人に1人が非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)に罹患し、その10~20%にNASHが存在すると言われております。NASHの一部の症例が肝硬変、肝臓に至るためNASH治療は重要です。しかしながら現行で承認されたNASH治療薬は存在せず、世界中でNASH治療薬の研究開発が盛んに行われています。

摂食にムラがありNASHモデル作成が難しいマウス等とは異なり、人と同様の糖・脂質代謝機能を持ち、ゲノムプロジェクトも完了しており、小型で飼育コストも低く、多産で世代サイクルの早いメダカはNASHモデルには適していると考えます。450匹以上のメダカNASHモデルを作成し薬効評価を行いました。現在論文作成中です。

最後に当科の紹介をさせていただきます。食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓などの消化器疾患の診療を行っています。取り扱う疾患として胃・十二指腸潰瘍などの消化管出血、急性腹症などの急性疾患、また、慢性肝炎、肝硬変などの慢性肝疾患、潰瘍性大腸炎、クローン病などの炎症性腸疾患、過敏性大腸症候群などの慢性疾患、さらに胃癌、大腸癌、肝臓癌、膵臓癌、胆嚢癌など癌疾患の早期診断、早期治療に勤めています。また、特殊診断治療としてカプセル内視鏡を用いた小腸・大腸の検索、ピロリ菌判定・除菌、早期胃癌・早期大腸癌に対する内視鏡的切除術、閉塞性胆道疾患に対する経皮・内視鏡的ドレナージ術及びステント留置術、内視鏡的総胆管結石除去術などを行なっております。上記の疾患疑い、精査・治療が必要な際には是非ご紹介頂ければ幸いです。生まれ育った新潟市西区で微力ながら精一杯勤務させていただきますので、今後ともよろしくお願い致します。

### 脳神経内科 鈴木 奈穂美 (すずき なおみ)

はじめまして。

2021年4月より脳神経内科に赴任しました、鈴木奈穂美と申します。

簡単ではありますが、生い立ちなど自己紹介をさせていただければと思います。

高校まで東京ですごし、大学は長野県、初期研修2年を新潟県厚生連糸魚川総合病院で修了し、新潟大学脳神経内科に入局しました。

小学生の頃に祖父が入院した際に、「何かしてあげたいけれど、何をしてあげれば良いのかわからない」と思い、医療職に憧れたのがきっかけで医師を志したことを今でも思い出します。大学は信州大学になんとか拾っていただき、長野県松本市で6年間過ごしました。ゆたかな自然と城下町の雰囲気の中、陸上部（恥ずかしながらほとんどジョギングにしか参加していませんでしたが。。。）の活動もしながら、のびのびと学生生活を送りました。

長野県も大好きだったのですが、研修病院では別の地域の医療も経験してみたいと思い、縁あって糸魚川総合病院に就職しました。それから進路については色々悩みましたが、学生時代から心惹かれていた脳神経内科に決め、歴史ある新潟大学脳神経内科への入局を決めました。

新潟県にきて早4年目ですが、気候にも徐々に慣れ、日本海の風景とおいしいごはんに日々癒されています。

趣味は、映画鑑賞や推理小説などの読書でもっぱら息抜きをしています。温泉巡りや旅行も好きですが、コロナ禍で遠出もできなくなってしまった今は、以前のような自由な日常が戻った時のために世界遺産検定の勉強でも始めようかなと思っています。

長々と自己紹介をさせていただきました。

まだまだ未熟者ではありますが、患者様、ご家族、病院職員の方々のお役に立てるように日々精進してまいります。今後とも、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

## 研修医 昆 知宏 (こん ともひろ)

この春よりお世話になります。研修医の昆知宏と申します。はじめましてというご挨拶も兼ねて簡単ではありますが、この場を借りて自己紹介をさせていただきます。

私の出身は新潟市の旧新津市で、この辺りと同じくらい田んぼが広がっているところで育ちました。新津は福島方面、山形(酒田)方面への交通の要所となっており、古くから鉄道の街として発展してきた場所で、鉄道ファンには人気の場所になっているようです。かくいう私も、鉄道ファンの友人が多い中で育ってきた影響で、少し鉄道に詳しくなっています。

出身大学は新潟大学で、大学時代は卓球部で活動していました。卓球は中学のときからやっていましたが、正直そこまでうまくありませんでした。うまくなかった理由としては(今振り返ってみれば)、自分から攻撃せず、相手が先仕掛けてきたのをカウンターで返す戦術を高校までやっていたので、試合ではほとんど勝てませんでした。大学では自分から仕掛ける戦術をずっと練習し、大学3年くらいから徐々に自分の戦術で勝てるようになってきました。最終的に医療系学生の大会で最高5回戦進出(ベスト64/参加者500人くらい)まで成績をのばせたことが、大学での一番の思い出です。

趣味は旅行です。一つ目的地を決めて、その道中で色々な街に寄り道しながら行くのが好きです。寄り道した街で、その街がどのような背景で発展してきたのかを想像してみたり(だいたい城下町由来ですが)、新潟市と比べて生活しやすい部分・生活しにくい部分を探してみたりしています。某感染症が流行してしまっただけからは、なかなか旅行に行けていないですが、計画するのも好きなので、いつか行けたらいいなと思って計画だけつくってストックしています。

以上、自己紹介を書かせていただきました。4月より医療現場に携わり始めて、慣れないこと・分からないことだらけなので、ご迷惑をおかけすることも多いと思います。一日でも早く現場に慣れて、新潟の医療に貢献出来たらと思います。どうかご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

## 研修医 楡井 志歩 (にれい しほ)

はじめまして。4月よりお世話になっております、研修医の楡井志歩と申します。簡単ではありますが、自己紹介をさせていただきます。

私は新潟県上越市出身です。楡井という苗字ですが、実家の近所に何軒か存在する程度で、上越でも読めないと言われることが多い、珍しい苗字です。どの程度珍しいか調べたところ、全国に約1,400人と少なく、初めて目にするという方もいるかもしれません。読みにくく、書きにくい苗字ですが、覚えてもらえると嬉しいです。

出身大学は新潟大学で、バスケットボール部に所属し、部活中心の生活を送っていました。小学生のときにバスケットボールを始め、帰宅部の時期もありましたが、10年ほど続けています。ポジションはセンターで、当たり負けしない屈強な体を目指し、練習に励んでいました。昨年の1年間は新型

コロナウイルス感染症の影響で練習や試合が思うようにできず、成果を披露できないまま引退となってしまいましたが、これまでの部活生活で身につけた体力や筋力を今後は仕事に活かしていきたいと思います。部活を引退してから運動する機会が減り、学生時代と比べると体力が落ちてしまったので、何か定期的に運動を行えればと考えています。

趣味は旅行で、現地の美味しいものや温泉を巡ることが好きです。県内を始め、北陸、東北、関西、九州などを旅行しましたが、まだまだ訪れたことのない土地ばかりで、将来的には日本全国を旅してみたいです。最近名古屋の味噌カツやひつまぶし、きしめんが気に入っています。おすすめの観光地やご当地の食べ物があれば、是非教えていただきたいです。旅行の他には、バイキングや食べ放題が好きで、焼き肉やスイーツビュッフェなどに行くこともあります。最近胃もたれすることも多いですが、無理のない程度で続けていきたいです。

以上で自己紹介を終わらせていただきます。至らない点が多々あるかと存じますが、一日も早く戦力になれるよう努めて参ります。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

## 研修医 山際 萌里 (やまざわ もえり)

はじめまして。今年の4月より研修医としてお世話になっております、山際萌里と申します。簡単にはありますが、自己紹介させていただきます。

私は新潟県新潟市出身で、小中高と新潟市内で暮らし、新潟大学を卒業しました。海に近い場所に住んでいたからか、幼い頃から海が好きで、今でも時間があるときには散歩に出かけます。日の出から朝焼け、夕日から日の入りの時間帯などに、ただぼんやりと海を眺めるのが趣味のひとつになっています。夏の晴れた空、穏やかな海面と佐渡島ののどかな光景も好きですが、冬の澄んだ空気のなか少し荒れている海もまた新潟らしくてすてきだと思います。

大学では合唱部に所属していました。女声合唱ではざっくりとソプラノ、メソソプラノ、アルトの順に音域が低くなって行くのですが、私は一番低い音域のアルトパートを担当していました。中学校では吹奏楽部に所属し、ファゴットという楽器を演奏していました。小学校時代には器楽部に所属し、アコーディオンを演奏していました。合唱や合奏のように大人数でハーモニーを奏でるのが好きで、取り組む形はその時々で変化してきましたが、今まで何だかんだと音楽を続けてきています。これからも続けていきたいと考えているのですが、なかなか機会がなく、今は家でごくたまにピアノを弾くくらいです。

休みの日は映画鑑賞や手芸などをして過ごすことが多いです。映画は主に洋画で、ジャンルはノンフィクションからアクションまで、その時気になった作品や話題になっている作品を幅広く観ています。最近の作品ではウェス・アンダーソン監督の映画が好きです。手芸は数年前からたまに羊毛フェルトやかぎ針編みなどで小さい作品を作ったりしていましたが、続けた時間の割にはそれほど上達もせず、初心者向けのキットで精一杯といった感じです。

以上、自己紹介させていただきました。医師としても社会人としてもまだ何もわからない未熟者で、

みなさまにご迷惑をお掛けすることと思いますが、日々成長していけるよう努めてまいります。どうか指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## 研修医 深澤 真楠 (ふかさわ まくす)

深澤真楠(ふかさわ まくす)と申します。西蒲区出身です。風邪をひくたびに、今はもうなくなってしまった西川診療所でお世話になっていました。当時は将来こういう形でお世話になるとは全く思ってもいませんでした。入社してまだひと月ですが、最近はレストラン・ブエナヴィスタの日替わり定食に胃袋をつかまれました。食べられなくなる日を思うと悲しいです。

さて、大学は山梨で過ごしました。部活動は特にやっていませんでしたが、微生物の研究室でHBVの研究をしています。体を動かすことが好きなので山々を散策したり、キャンプ、フットサル、野球、バドミントン、スキーもやります。

せっかくなので山梨の紹介をします。数年前に崩落して有名になった笹子トンネルより山梨側の甲府盆地を国中、それ以外は郡内と呼ばれます。どっちみち内側です。灯台下暗しという感じ(?)で、手前で山が邪魔するので甲府盆地からは富士山の山頂しか見えません。甲州市、甲府市、甲斐市、山梨市、中央市があって互いに中心を主張しあっていると思います。私は甲州市塩山に住んでいましたが、五千円札の樋口一葉の両親の出身地だそうです。中里介山の同名小説『大菩薩峠』が家の裏山です。峠を越えて青梅街道を進むと奥多摩のダムを抜けて東京・新宿に至ります。一昨年の台風19号の際には千曲川や多摩川が氾濫し信濃川もあわやというところでしたが、深沢七郎の同名小説『笛吹川』も氾濫寸前でした。これらの川はみんな大菩薩峠のあたり(秩父多摩甲斐国立公園)に源流があって、その辺で局地的大雨が降ったようです。裏山の大雨が日本各地で氾濫して妙な気分でした。なお、大菩薩峠は完全な山梨領ですが、山中に東京都水道局の標識が立ち並んでいます。いかに重要かわかりやすい。

また、山梨のスーパーには馬刺しが並び、巨摩郡、甲斐駒ヶ岳など馬の影が色濃い地域です。御牧(みまき)と呼ばれた牧場で馬を育てていた歴史があるそうです。

南アルプスの北端に位置する甲斐駒ヶ岳は、深田久弥が『日本百名山』で絶賛した名峰です。その麓ではコンビニでお馴染み南アルプスの天然水が製造されています。数年前までは「白州」という銘柄のウイスキーを生産していて、工場見学で振る舞われていました。今でこそお酒は無料ではなくなりましたが、近くにある道の駅白州に行けば南アルプスの天然水が無料で汲めます。南アルプスの天然水で育った武川米や梨北米は魚沼米に劣らない美味しさです。お餅もオススメです。

研修医生活をスタートさせてまだ数週間が過ぎたばかりですが、過疎地も非過疎地もやっている医療は同じなのではという当たり前の考えにやる気が出てきました。総合診療医を目指します。

以上、まだまだ不勉強でスタートラインについたばかりですが、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。